

1 『生意気だけど毎日フェラで起こしてくれる義妹との朝』 ASMR 脚本

2 ◆登場人物

- 3
- 4
- 5 • 咲 (さき)
- 6
- 7 • 親の再婚でできた義理の妹（主人公の父親と、咲の母親が再婚した）
- 8 • 突然できた兄（主人公）の存在に戸惑い、顔を合わせれば生意気な態度を取つてくる。
- 9 • 根は素直な性格で、内心主人公とも仲良くしたいと思っている。フェラで起こそうと思ったのも、
- 10 強引に起こすよりかはそっちの方が距離を縮められるかなと思ったため。

【生意気だけど毎日フヨラで起いしてくれる義妹との朝】

11	1,毎朝の習慣(フヨラ→口内射精)	
12		
13		
14		
15	場所	：主人公の部屋
16		
17		
18	・朝、主人公を起いしに部屋へと入ってくぬ咲。	
19		
20	(5)中	
21		
22	SE:扉を開く音	
23	「ねえ、もう朝なんだけど。お母さん、呼んでるよー」	
24	・咲、枕元まで近づいてくる。	
25	(5)中→(7)近	
26	SE:足音	
27	(7)近	
28	「ほひ、起きあひ…」	
29	・咲、主人公の体を揺さぶる。	
30	SE:衣擦れの音	
31	・主人公、一度目を開けて、また寝ようとする。	
32		
33	「あ…今、起きたでしょ… 一度寝許さないからね…」	
34	なんやいの人は毎朝毎朝…起いすこいつの身にもなつて欲しいんだけど…」	
35		
36	「ほひ起きあひ…」	
37		
38	「はあ…サイテー…これでもまだ寝ぼけてるなんて…	
39	あ…今日もしなひいよお?」	
40		
41	「…」	
42		
43	「本当、いい身分だよね。お母さんも呼んでるつてのに、	
44	義妹にこんなに口をせようなんて」	
45		
46	・咲、主人公のマッサージの上へ	
47	SE:マッサージがかかる音	
48	(7)近→(6)近	
49	(下側)	
50	・咲、主人公のズボンとパンツを降ろす。	
51	SE:衣擦れの音	
52		

「こっちもいつも通り…こんな大きくな…」

・咲、主人公の性器の匂いを嗅ぐ。

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

⑥接

SE:「ツドガキシム音

(下側)

「それにこりも…くんくん…んん、汗くさ…ちゃんと洗つてんの?  
それとも寝てる間にこんなになるわけ?くんくん…すう…ふう…」

「はあ…本当、こい匂いだけは慣れないわ…はあ…  
よし、さつさと抜いちやうからね…ちゅつ…」

・咲、フェラ開始

※はじめは舐めるというよりかはキス中心で。

「ちゅつ…ちゅつ…ちゅつ、んつ…ちゅつ…ちゅりゅ、んちゅ…ちゅつ…ちゅつ。  
ちゅる…ちゅつ…んちゅ…れろれろ…ちゅつ…」

「ふう…やつぱ、こいらへんを責められるのが弱いのかな?びくんつてなるし  
年下にされるがままになつて…惨めとか思わないのかな?」

・咲、除々に舐めの比率を上げていく。

「ちゅつ…ちゅつ、ちゅりゅ…れろれろ…んつふう…れろ…ちゅつ…れろろ…  
ふう…ん、れろれろ…ちゅつ…」

「仕方ない。もう時間も無くなつてきてるし…そろそろ本格的にやるか…」

・咲、性器を口に含んでフェラ開始

⑥近

(下側)

「んんつ…んく…ふう、んん…んじゅ、じゅりゅ、じゅつ…じゅぶつ…  
じゅぶつ、じゅぶつ、じゅほつ、じゅりゅぶ、じゅぶぶぶぶぶ…」

「じゅばつ…じゅばつ…じゅばつ…ん、れろれろれろ…ずずつ…  
んじゅ…じゅぶつ…じゅぼ、じゅぼ、じゅぼ、じゅりゅりゅつ…」

「ふはあつ…はあ…はあ…ほんと大きあ…」

「じゅぼ、じゅりゅ…んちゅつ、毎朝こいつって起こす側の身にもなつてほしいんだけど…  
ちゅ、じゅりりゅ…」

「いいやめやされたんだからそろそろ起きなよー」

・主人公、動く気なし

・間

「いい、終わるまで起きる気なしかい」

・咲、激しめにフェラ

「んぐう…んじゅ…じゅぱう、じゅぱう…べっぴんぐう…んう…べう…じゅば、じゅば…んじゅば…じゅば…じゅりゅう…んぐ…んう…んう…」

・咲、我慢汁が出てきたのに気づく。

「ん…やうと、お汁が出てきた…んう、じゅば、じゅりゅ…じゅう、わゅう、ふう…れろれろ…んじゅ…れろれろ…ふうう…んう…わゅう…わゅうわゅう」

「それに…やう…また大きくなつてあたし…いいを起き上がらせるくらいなら、体を起こせいいの…」

「んじゅ、じゅりゅ…じゅ、じゅ…んじゅ、じゅば…じゅば、じゅりゅりゅじゅば、ちゅ…れろれろ、じゅちゅりゅ、ちゅりゅ…じゅば…んじゅ…」

・主人公、激しいフェラで身じろぎ

SE:ミラードがきしむ音

・咲、性器を口に含みながら。  
・咲、性器から口を離し。

SE:ミラードがきしむ音

「はあ？ ちよつと動かないでほしいんだけど。  
抜いてほしいならいつのやりやすいようにしてやー。」

「はあ…本当、自分勝手過ぎやしょ」

・咲、主人公の亀頭を手でねぶりながら

SE:唾液たっぷりの亀頭を手でねぶる音 (ぐちよねちよ)

「あんたはやつやと出せばいいの。私も学校行かなくちゃいけないし、お母さん、朝はん用意して待ってるんだから」

137

138

139

140

141

142

⑥近 (下側)

・咲、激しめフュラ開始

SE: バツレガキシム音 ※以下継続

「ほひ、急いで…私の口や…わいせとイッて。それくらいなら、あんたでもいいやねんじゃ」

143  
144  
145  
146  
147  
148  
149  
150  
151  
152  
153  
154  
155  
156  
157  
158  
159  
160  
161  
162  
163  
164  
165  
166  
167  
168  
169  
170  
171  
172  
173  
174  
175  
176  
177  
178

「はむひ…んじゅ、じゅほ、じゅほじゅほじゅ…んじゅ…じゅほひ、じゅほひ…」

ふひ…へひ…じゅほ、じゅほ…じゅりゅりゅ…」

ちゅうひ、ちゅうひ…ちゅりゅりゅりゅ…」

「もうイキそうなんでしょ？ だつたら、わいせと出しちゃひ…我慢とかしないで、

じゅほ、時間とかかけないで、れうれ、早く…早く…」

「はあひ…ひ…んじゅ、じゅちゅ、わいせとあんたの精子…出しちゃえ…んじゅ、ふじゅ…じゅほ…」

大きくなつてきた…そろそろ…そろそろでしょ？ んじゅ、じゅりゅ、じゅほ…ちゅう」

「ほひ、出して出して…わいせとあんたの精子…出しちゃえ…んじゅ、ふじゅ…じゅほ…出すもの出して…わいせと起きてよ…」

156  
157  
158  
159  
160  
161  
162  
163  
164  
165  
166  
167  
168  
169  
170  
171  
172  
173  
174  
175  
176  
177  
178

「んひ…ひ…じゅほじゅほ…昇つてきたんだね…それじやあ…じゅ…じゅ…」

「じゅうううう…」

「…んん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…」

SE: バツレガキシム音 ※終」

・主人公、咲に口内射精

SE: バツレガキシム音 ※終」

・咲、精子をいへん

「んひ…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…ん…」

「ふはあ…はあ…はあ…はあ…朝から出しだよ…」

「1日毎にどんどん量増えてない？ 出してとは言つたけど…制服、汚れたらどうするつもりだったのよ…ふはあ…ん？」

・咲の母、主人公と咲を呼ぶ。

・間

⑥接

「はー…わかつてお母さん… 今お兄ちや…あの人、起きたから… もう降りる…」

175  
176  
177  
178

⑥近

179  
180  
181  
182  
183  
184  
185  
186  
187  
188  
189  
190  
191  
192  
193  
194  
195  
196  
197  
198  
199  
200  
201  
202  
203  
204  
205  
206  
207  
208  
209  
210  
211

・咲、思わず主人公を兄と呼びかけたりふに動搖しつゝ、マッドを折りる。  
SE:マッドがしゃむ音  
⑦中

「…何？ お兄ちゃん？ 聞き間違ひでしょ。私が叫うわけないし」

「…じこらか、別にお兄ちゃんとか言つても問題なくない？ 義理とは言え、一応あなたは私の兄なんだし」

・主人公、お兄ちゃんと呼んで欲しい的ないとを叫う。  
・間

「は？ いや、だからと叫つて呼ぶわけないじゃん… 何叫ひでんの？」

「せめてやう叫うのは、ちゃんと自分で起られるようになつてから叫うで」

「あんせんなくだらなこ」と叫う暇あつたら、早く着替えて…  
朝じはん、もう冷めちゃうつてお母ちゃんも叫つてたやしょー」

「はあ…私、先に下に降りてるから、  
やあやああんたも着替えて降りてきなやこよ」

(小声で)

「はあ…ほんと…私がいないとダメなんだから…お兄ちゃんは…」

SE:足音

⑦中→⑤中

・間

SE:扉を開ける音

SE:去つていく足音

・生意気だけじ毎日フヨリや起りしゃべくれる義妹との朝 END